

FORZA 駒澤 選手紹介 PART2

津村典明 (4年・DF)

今回紹介するのは副キャプテンの津村典明選手。高校時代は千葉の名門、市立船橋高校で活躍し、国立の芝を踏んだ輝かしい経歴を持つ。駒大では1年次からレギュラーとして活躍してきた。そんな津村選手はサッカーとどのようにして出会い、そして向き合ってきたのだろうか。

小学校時代はFWで超エース級

サッカーは幼稚園の時から遊びでやってましたね。運動が好きで野球とかもしてました。休みの日に家の前で親父とボールを蹴ってたら近所のサッカーチームのおじさんにたまたま声をかけられて、「これからチームを作るから入らなアカ」と。それで「内野少年少女サッカークラブ」に入りました。真剣にやりましたのは小3からで、4年くらいまでFWでした。自分でいうのもなんですけど、すごい弱小チームで、自分はヒーローでした。もう超エース級(笑)。ドリブルもガンガンして、でも俺らの2コ上は強くて城定さん(信次・現浦和レッズDF)がいました。城定さんが4、5年の時に内野に越してきたときに城定さんが3年ですって同じチームでした。城定さんはやっぱり近い目標でした。

中学は原山中学校で問題中学でした。最後の大会では審判に石とか投げるやつもいてやんちゃなやつが多かったです。城定さんがいた時は県2位とかで強かったんですけど、そんな環境でも小6の時から県選抜に選ばれて、うまい人とサッカーが出来るのが大きかったです。山根(伸泉・国士館大)とか羽生(直剛・筑波大)はこのときからずっと一緒にやりました。



夏がけて体育祭の前くらいに布先生(啓三朗・市立船橋高校監督)が中学まで来てくれて、それで即答です。行きませよと(笑)。市船は自分が小3の正月にはじめて見て、全国準優勝だったんですけど、それから市船で選手権に出て、全国優勝するのが夢でした。入ってすぐ「何でこんなに練習がきつんだ」と思いました。1年は初め人数が多いからとりあえず走らされてるんですけど、走りの苦手な自分にとっては辛かったです。

高校時代に印象に残っている試合はベスト3の第3位は1年の時の1年生大会決勝です。それまで自分のチームでレギュラーとして県大会の決勝に行くことがなくて、ずっと決勝に行くようなチームでやりたいと思っただけ、それがなかったから。試合は八千代高校に負けたんですけどね。第2位は2年の時の選手権決勝です。高2の選手権の前まではずっとBチームでCBやってたんですけど、選手権本大会直前にAチームに抜かれてもらいました。S Bの先輩の調子がケガでよくなくてそれで使ってもらったんだと思います。試合は一回戦と準決勝に出たんですけど特に準決勝(国立)は他の人が見ても分かるくらいすごい緊張してました。でもアップの前

から。もしお前がミスしてもお前責任はない」と言われてくれたんです。ここ感動するところですよ(笑)。これを聞いて思い切ったやれると思えました。入場する時は「緊張するからスタメンは見るといいわ」といわれて下をむいて行ったんですけど、やっぱりそこからは見ちゃって。でもそれを見たら「うわー、見られてるよー」って感じて楽しくなってきた。緊張せずにやれました。第1位は3年の時の選手権県予選の決勝。八千代高校に1、3で負けたんですけど、もし人生でどこかに戻れるんならこの時に戻りたいですね。負けたあとはみんな号泣でかなりのシヨクでした。学校行っててもサッカー部には声かけられないくらい。でももしあの時勝って全国優勝とかしてたら、それを満足しちゃって大学でサッカーなんてやってなかったかもしれないからそういう意味ではよかったと思う。

駒大1年目はビクビクしてサッカーしてた。駒大への進路決定については、進路面接みたいなのがあった時に、布先生に「1部だったらどこでもいい」と言われて、顔を窺って怒ってない」と分かって「体育系は嫌だ」と言いました。それで駒澤受けてみ

ました。クーパー走とかピリでもう落ちたな」と思ってたんですけど誠史さん(岡田)コーチが三上のいた埼玉国体選抜と千葉国体選抜の試合を見てたのも参考にしてくれたらもう受かりました。森田もクーパー走では俺の前だったんですけどね(笑)。2月くらいから練習に参加してんですけどまず思ったのは「こんなに練習軽くていいの」でした。どうしても市船と比べちゃうから。試合は1年から出る事が出来ました。CBの米山さん(篤志・現東京ヴェルディFC)がヴェルディに行っちゃって空いてたし、もう一人のCBの先輩がテル(小林久晃)と同じようなタイプだったから俺になっただんじやないですか。でもこれを先輩に読まれたら嫌だけど1年の時は「こんなチームでやりたくない」と思ってしまった。失点したら全部俺のせいでした。でも弱気になっても意味無いから強気で行こうと思って試合中は先輩を呼び捨てにしたりしました。秋のリーグ戦頃からは先輩も多分自分を認めてくれて何も言われなくなりました。

少しでも長く今の仲間とサッカーがしたい。2年前にリーグ戦準優勝した時から俺とミズノ(バ)は変わってないのに優勝しない方がおかしいですよ。傍から見れば、もちろん優勝は狙ってます。それに今はこの仲間と同じ目標に向かって一緒にサッカーが出来てうれしいし、ずっとやってきた仲間と少しでも長く一緒にサッカーをしたい。そのためにも面々は揃って欲しいと思うから駒澤の場合は気持ち。自分もボラン

た。クーパー走とかピリでもう落ちたな」と思ってたんですけど誠史さん(岡田)コーチが三上のいた埼玉国体選抜と千葉国体選抜の試合を見てたのも参考にしてくれたらもう受かりました。森田もクーパー走では俺の前だったんですけどね(笑)。2月くらいから練習に参加してんですけどまず思ったのは「こんなに練習軽くていいの」でした。どうしても市船と比べちゃうから。試合は1年から出る事が出来ました。CBの米山さん(篤志・現東京ヴェルディFC)がヴェルディに行っちゃって空いてたし、もう一人のCBの先輩がテル(小林久晃)と同じようなタイプだったから俺になっただんじやないですか。でもこれを先輩に読まれたら嫌だけど1年の時は「こんなチームでやりたくない」と思ってしまった。失点したら全部俺のせいでした。でも弱気になっても意味無いから強気で行こうと思って試合中は先輩を呼び捨てにしたりしました。秋のリーグ戦頃からは先輩も多分自分を認めてくれて何も言われなくなりました。

●つむのりあき／1979年4月20日生まれ。178cm、68kg。内野小・原山中・市立船橋高。家族構成は父、母、兄。好きな選手はイタリア代表のF・カンナバーロ(バルマ)。目指すサッカーはイタリアの「カテナチオ」。

次節は青山学院大学と対戦!

<場所>平塚競技場
<日程>10月8日(祝) 12:30

競技場へのアクセス

●JR「平塚」駅北口よりバス 10 番線乗車、「総合公園」下車徒歩 5 分。または 1 番線乗車、「共済病院・総合公園西」下車徒歩 5 分

小林久晃から見た津村典明

サッカーのミーティングは津村が中心でやってくれる。コンスタントに落ち着いていいプレーができるのは精神的に強いからだと思う。その人のために厳しいことも言ってくれるから助かってます。